



# 最近の県内経済情勢

令和 8 年 8 月 5 日

財務省関東財務局

前橋財務事務所

問い合わせ先  
前橋財務事務所 財務課  
電話 027-896-2908(直通)

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

| 項 目  | 前回(8年4月判断) | 今回(8年7月判断)  | 前回比較                                                                                |
|------|------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 総括判断 | 持ち直している    | 緩やかに回復しつつある |  |

(注)8年7月判断は、前回8年4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### (判断の要点)

個人消費は、回復しつつある。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、横ばいの状況にある。

#### 【各項目の判断】

| 項 目    | 前回(8年4月判断)          | 今回(8年7月判断)      | 前回比較                                                                                  |
|--------|---------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 個人消費   | 緩やかに回復しつつある         | 回復しつつある         |    |
| 生産活動   | 持ち直しに向けた動きに一服感がみられる | 持ち直しつつある        |    |
| 雇用情勢   | 足踏みの状況にある           | 横ばいの状況にある       |  |
| 設備投資   | 7年度は増加見込みとなっている     | 8年度は減少見込みとなっている |  |
| 企業収益   | 7年度は増益見込みとなっている     | 8年度は増益見込みとなっている |  |
| 企業の景況感 | 「下降」超に転じている         | 「下降」超幅が拡大している   |  |
| 住宅建設   | 前年を下回っている           | 前年を上回っている       |  |
| 公共事業   | 前年を上回っている           | 前年を下回っている       |  |

#### 【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、ドラッグストア販売額、家電大型専門店販売額、ホームセンター販売額、乗用車の新車登録届出台数は前年を上回っている。また、宿泊・観光は持ち直している。

全体としては、回復しつつある。

#### (主なヒアリング結果)

- 物価上昇による生活防衛意識の高まりにより常設の販売は苦戦しているものの、催事などを中心に売上げは伸びている。(百貨店・スーパー)
- 物価上昇と賃上げの浸透が交錯する中、日常ではシビアな価格比較など節約志向が強まる一方で、イベントや季節商材には「プチ贅沢」を楽しむ、消費の二極化(メリハリ消費)が進行している。(百貨店・スーパー)
- 消費者の節約志向は続いており、買上げ点数は低下しているが、一品単価の上昇幅が上回っていること、また新規出店による客数増加も伴い、売上げは前年比で増加している。(ドラッグストア)
- 省エネ基準が改定される 2027 年問題や中東情勢に伴う取付工事に必要な資材調達難に対する報道などを背景に、エアコンの販売は好調な状況が続いている。また、サッカーワールドカップなどスポーツイベント効果により大型テレビなど主要家電の販売も堅調な動きとなっている。(家電量販店)
- 顧客が新車を求める動きは引き続き旺盛なものの、メーカーの生産が追い付いていない状況。(自動車販売)
- 仕入価格の上昇に伴い値上げを行ったものの、イートイン、テイクアウトともに販売は堅調。(飲食サービス)

#### ■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産活動は、業種別にみると、輸送機械、食料品、汎用機械・生産用機械・業務用機械は減少しているものの、化学などは増加している。全体としては、持ち直しつつある。

- 半導体向け分野について、AI 向け先端品の需要が高く、生産量が増加している。(化学)
- 中東情勢の影響を受けつつも、新型車の受注好調を背景に、当社部品の生産量は増加している。(電気機械)
- 原材料価格等の上昇に伴う商品価格の値上げにより一部商品の販売量が落ち込んでいるため、生産量を調整している。ただ、こうした中であっても、熱中症対策をサポートする商品の生産は好調。(食料品)
- 中国およびタイの自動車市場において、取引先が販売に苦戦しており、それに伴い生産量が減少している。(輸送機械)
- 取引先への納品が完了したため、足下の生産量は落ち着いている。(生産用機械)

#### ■ 雇用情勢 「横ばいの状況にある」

新規求人数は増加しており、有効求人倍率は横ばいとなっている。雇用情勢は横ばいの状況にある。

- 生産ラインの自動化を進めており、生産用機械の操作や品質管理を担う専門人材が不足気味。従前は中途採用による専門人材の獲得に力を入れていたが、現下の雇用情勢では難しいと判断し、自社での育成をスタンスとしている。(製造(食料品))
- 人員不足対策として、外国人材の活用のほか、外部企業との連携によるベテラン作業員の技能の見える化やe ラーニングによる多能工化などに取り組んでいる。(製造(金属製品))
- フルタイム雇用が減ってパートタイム雇用が増える動きがみられる。フルタイム勤務では体力的に厳しい高齢者の増加や、スポットワーク(一日ごと等の単発で勤務する雇用形態)の定着が主な要因とみている。(行政機関)

#### ■ 設備投資 「8 年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 4-6 月期

- 8 年度の設備投資は、製造業で前年比 14.2%の減少見込み、非製造業では同 8.6%の増加見込みとなっており、全規模・全産業では同 6.4%の減少見込みとなっている。

#### ■ 企業収益 「8 年度は増益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」8 年 4-6 月期

- 8 年度の経常利益は、製造業では前年比 15.5%の増益見込み、非製造業では同 4.9%の増益見込みとなっており、全規模では同 8.4%の増益見込みとなっている。

#### ■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」8 年 4-6 月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が拡大している。先行きについては、「下降」超で推移する見通しとなっている。

#### ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、分譲、貸家とも前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

- 取得者層の動向としては、物価高騰の影響もありローコスト住宅に流れている。また、住宅ローン金利の動向が取得者層に与える影響についても注視している。(住宅建設)

#### ■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額でみると、国、県は前年を上回っているものの、市町村は前年を下回っており、全体では前年を下回っている。



# 最近の県内経済情勢

## (資料編)

令和 8 年 8 月 5 日

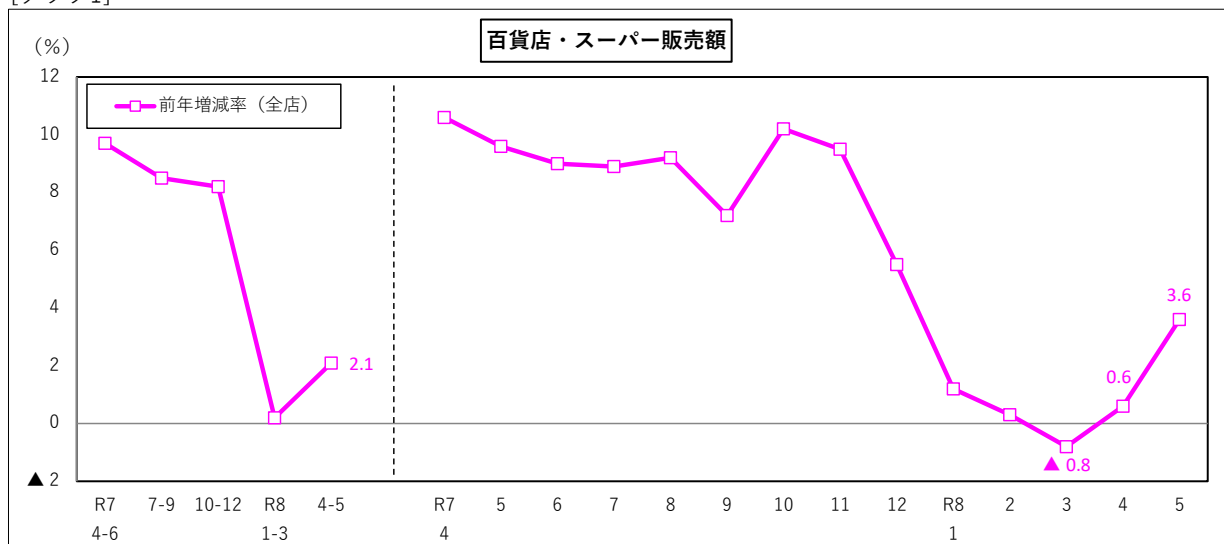
財務省関東財務局  
前橋財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

## 1.個人消費

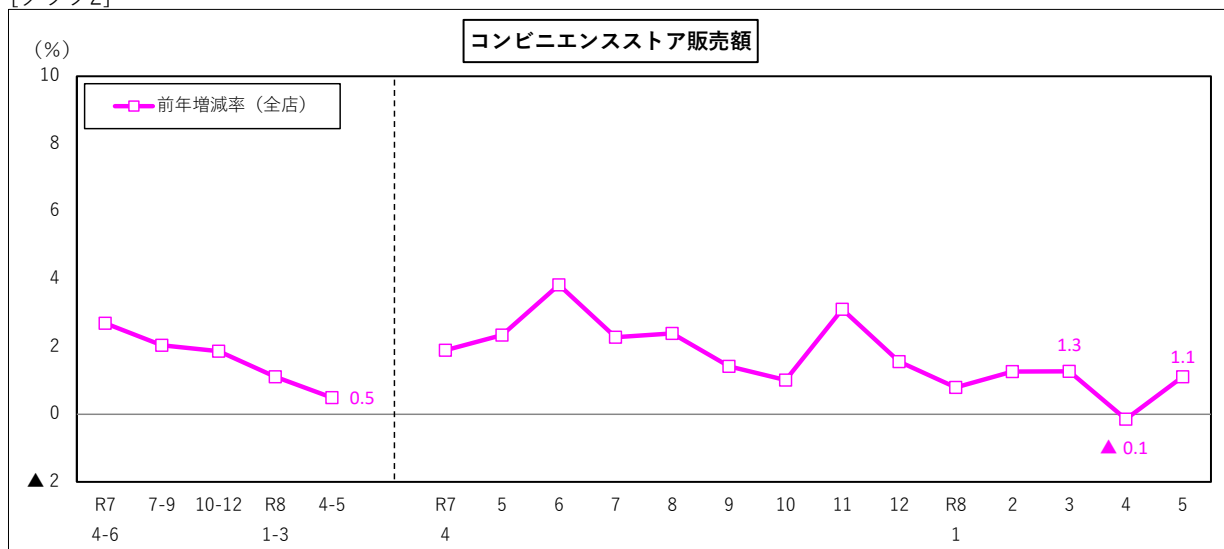
回復しつつある

[グラフ1]



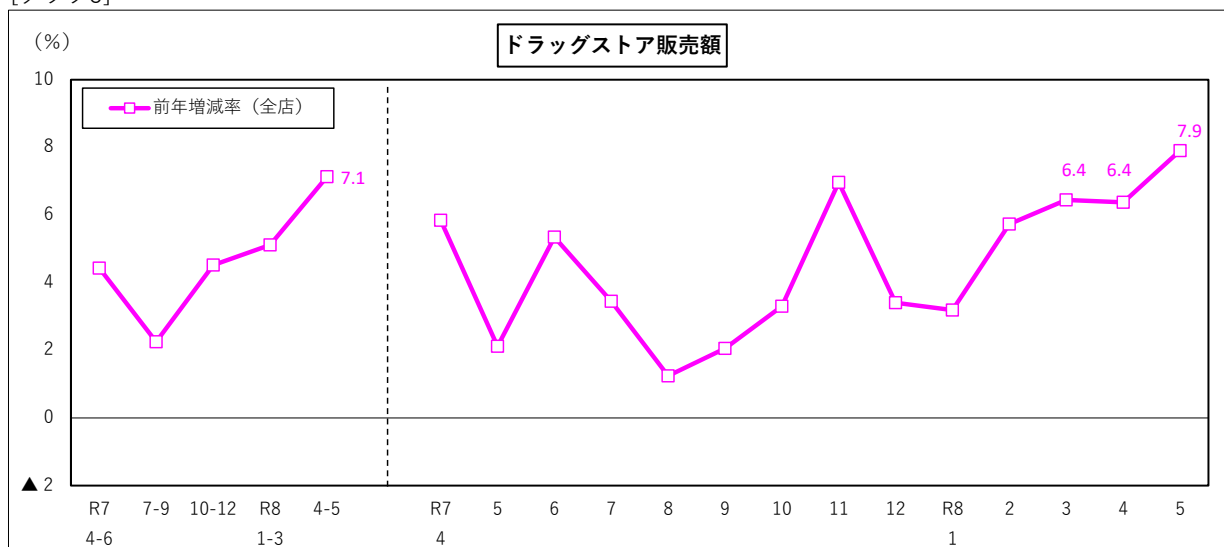
【経済産業省】

[グラフ2]



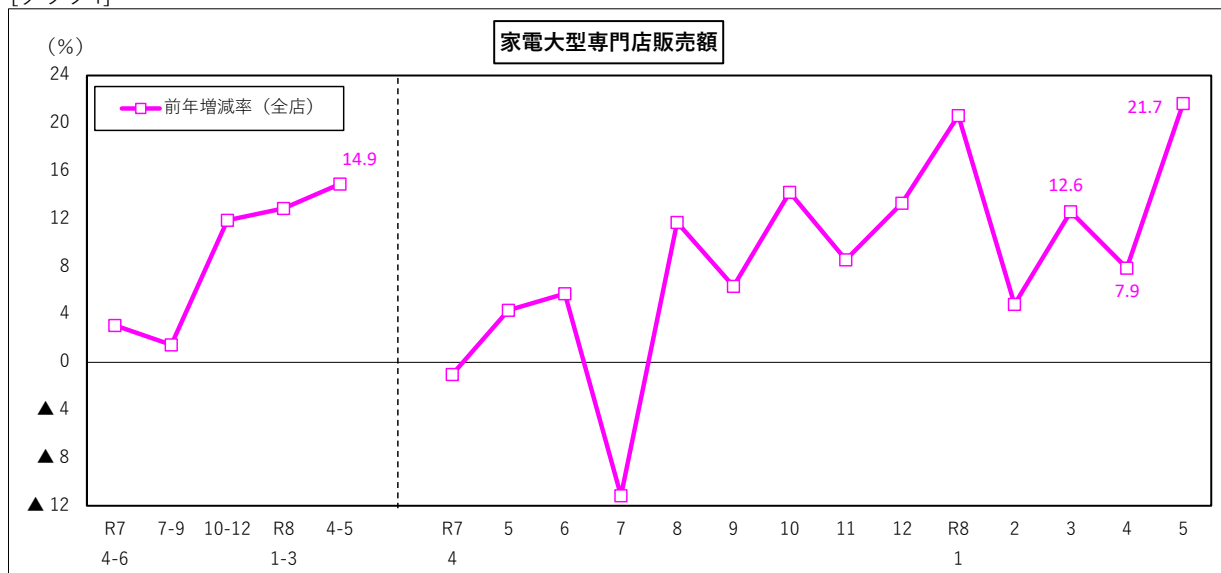
【経済産業省】

[グラフ3]



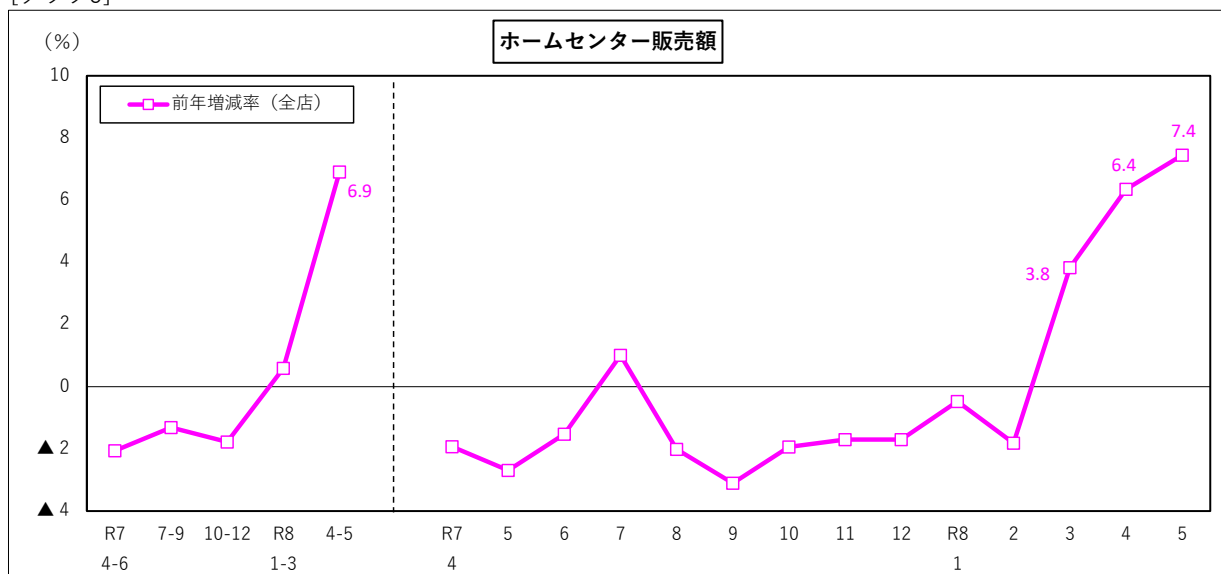
【経済産業省】

[グラフ4]



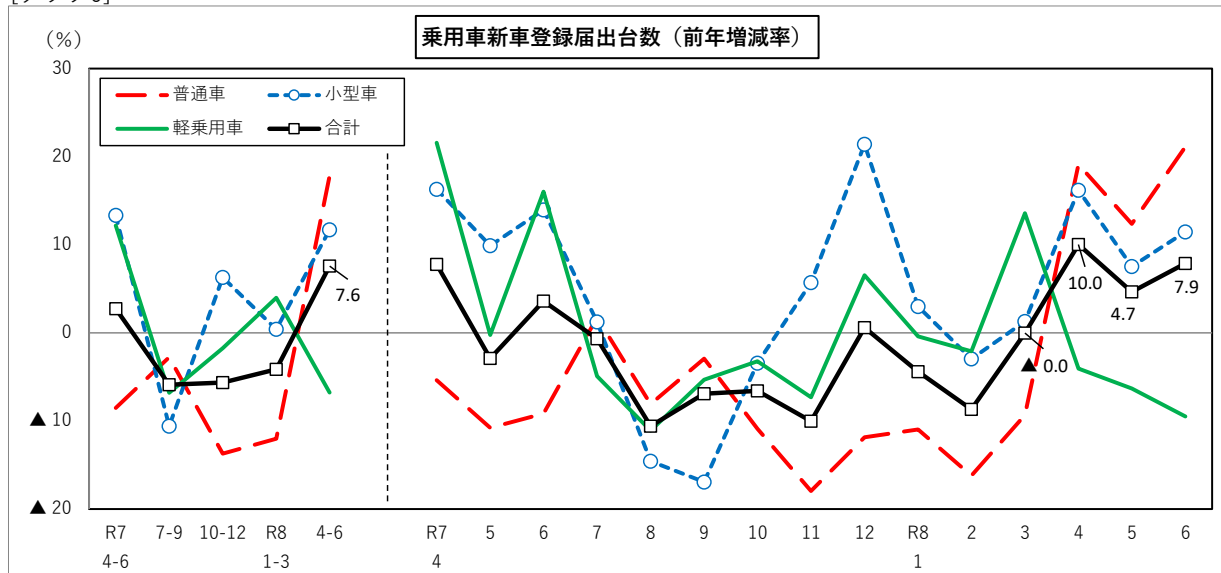
【経済産業省】

[グラフ5]



【経済産業省】

[グラフ6]

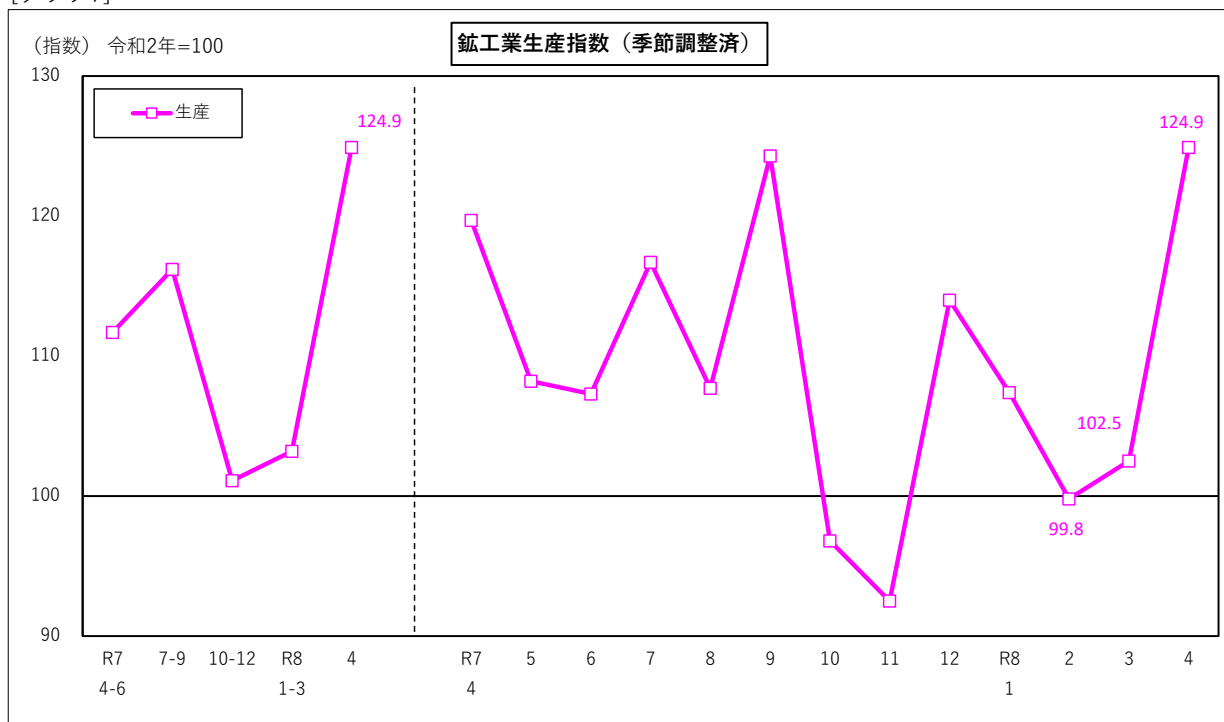


【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

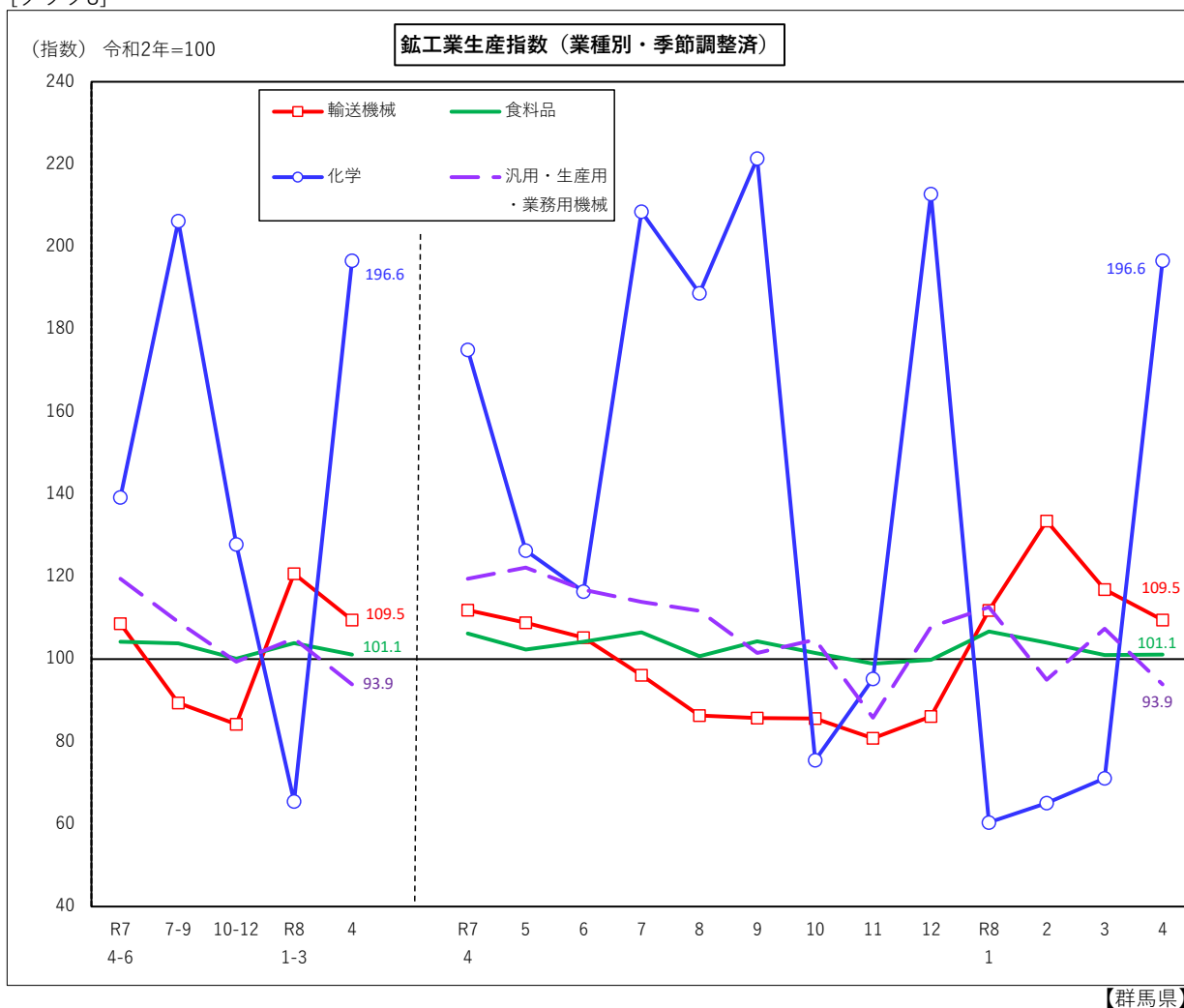
## 2.生産活動

持ち直しつつある

[グラフ7]



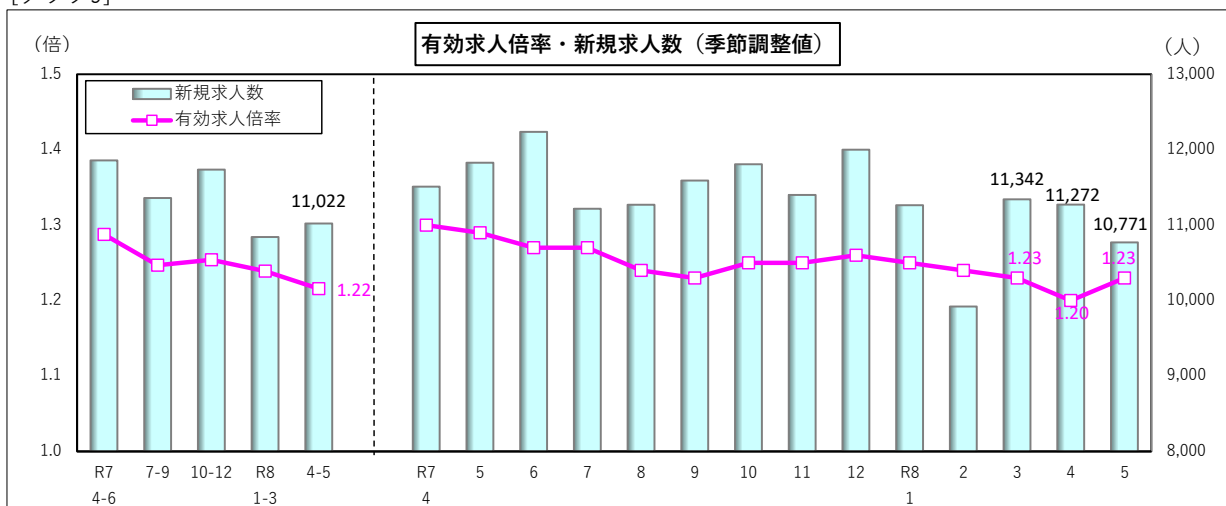
[グラフ8]



### 3.雇用情勢

### 横ばいの状況にある

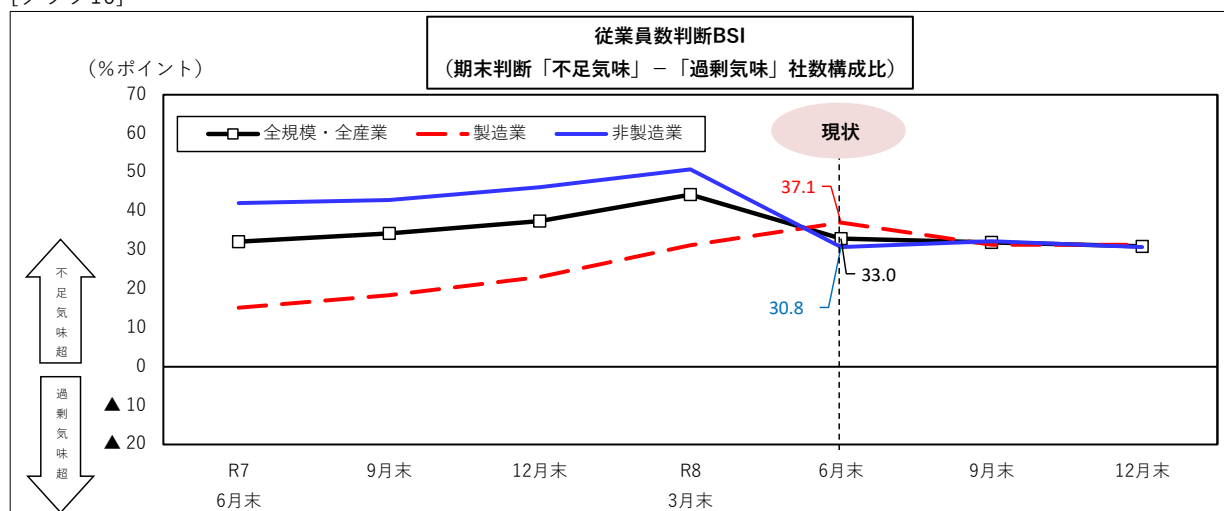
[グラフ9]



(注) 四半期の新規求人数は月当たりの平均。

【厚生労働省】

[グラフ10]

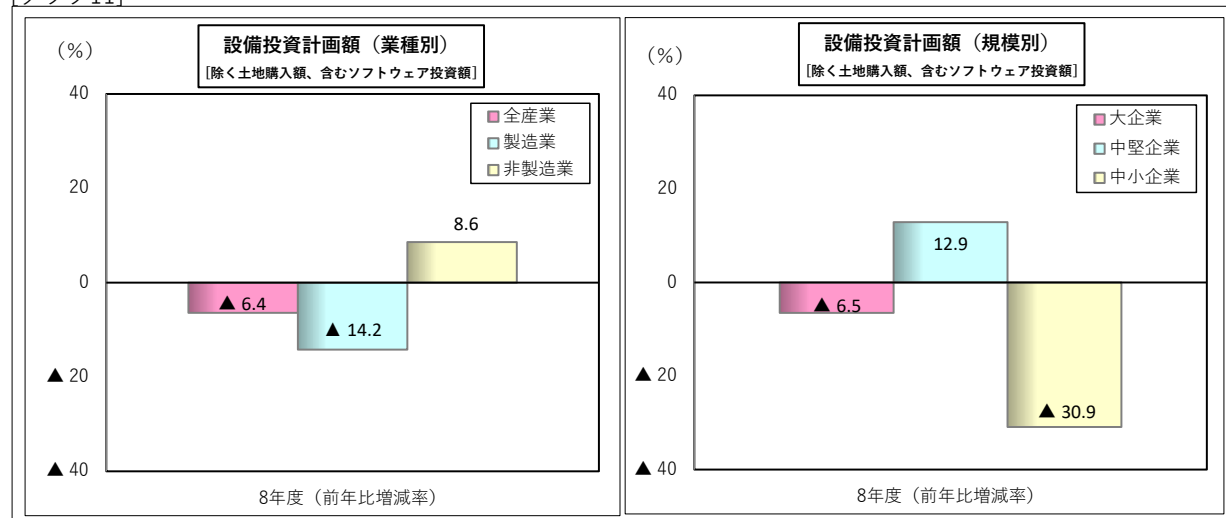


【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

### 4.設備投資

### 8年度は減少見込みとなっている

[グラフ11]

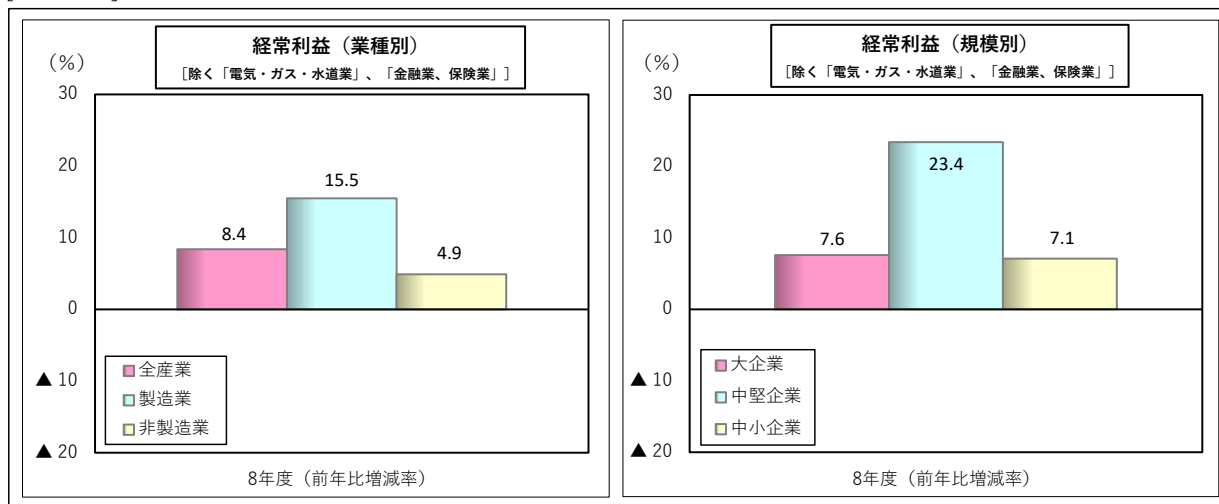


【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

## 5.企業収益

8年度は増益見込みとなっている

[グラフ12]

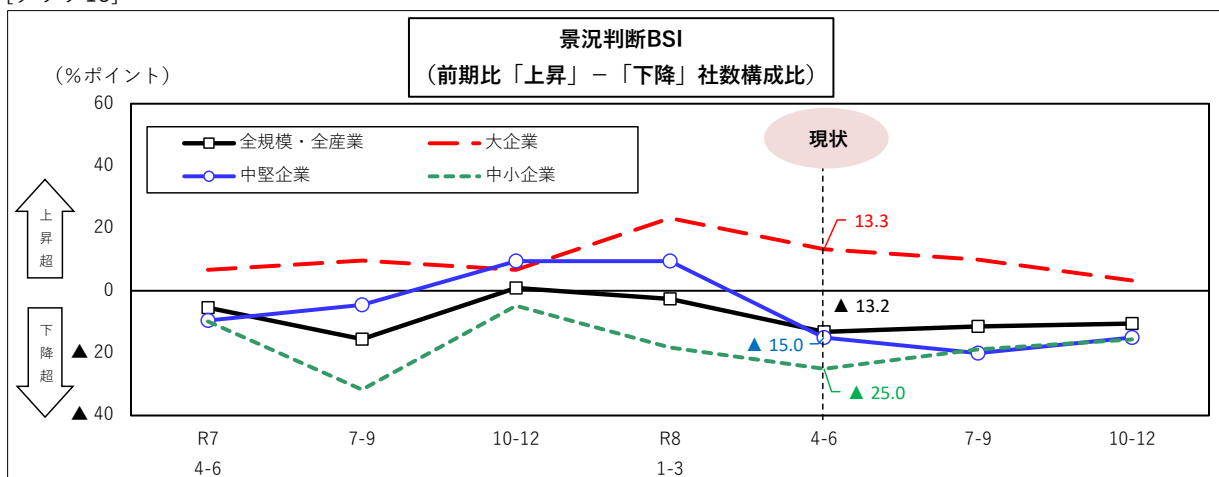


【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

## 6.企業の景況感

「下降」超幅が拡大している

[グラフ13]

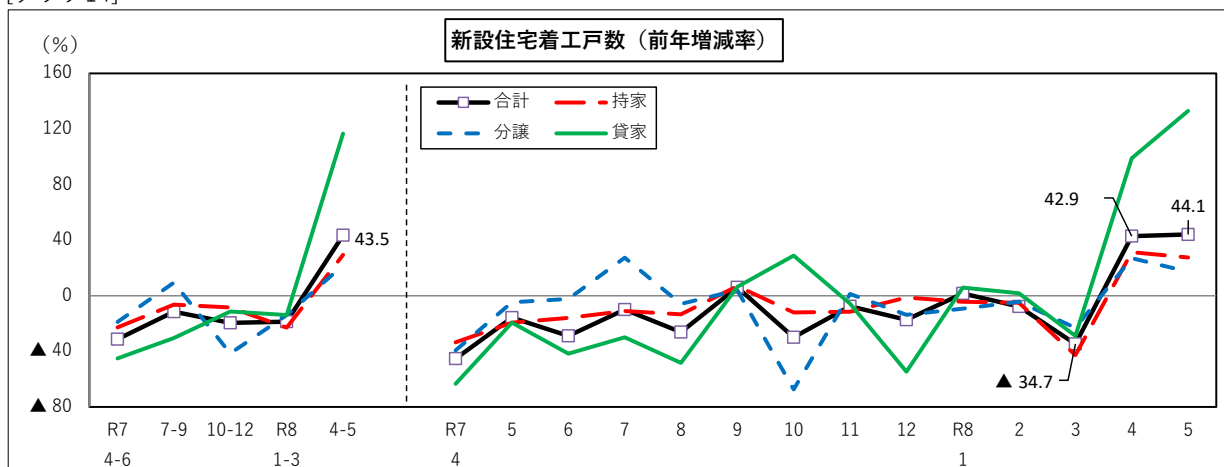


【前橋財務事務所（法人企業景気予測調査）】

## 7.住宅建設

前年を上回っている

[グラフ14]



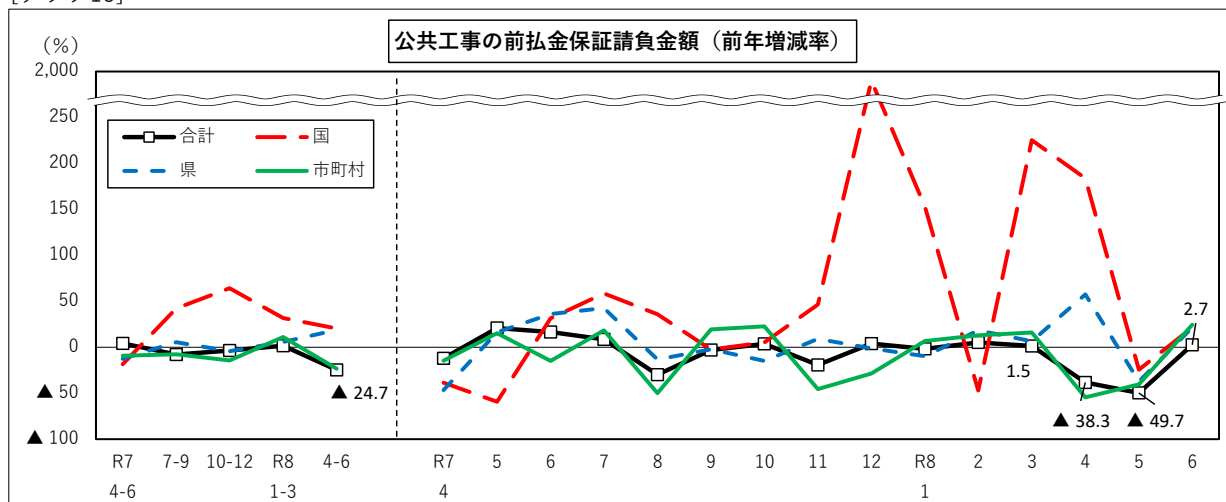
(注) 合計には給与住宅を含んでいる。

【国土交通省】

## 8.公共事業

前年を下回っている

[グラフ15]

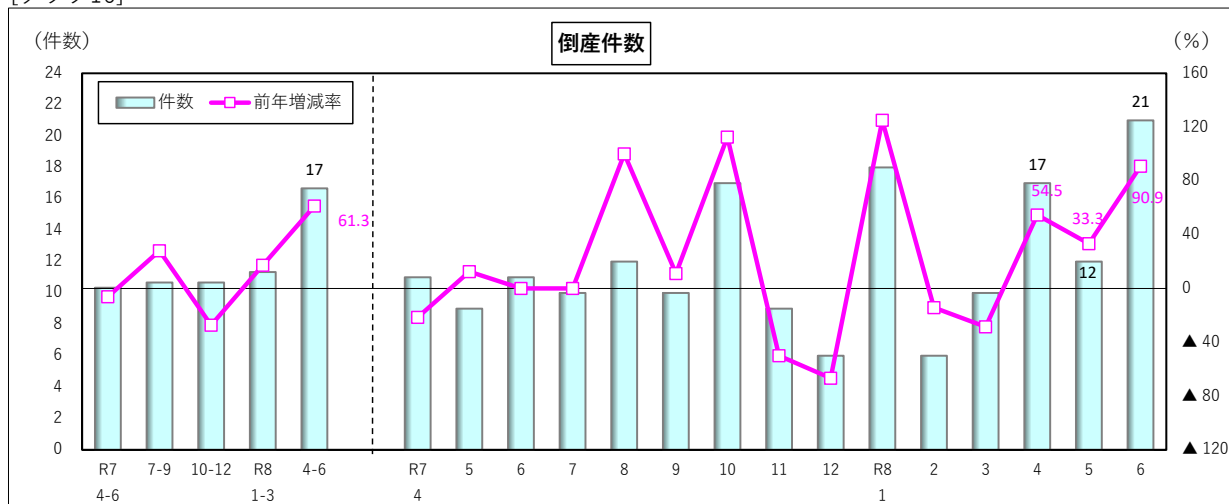


【東日本建設業保証株式会社ほか】

## 9.企業倒産

負債総額は前年を上回っている

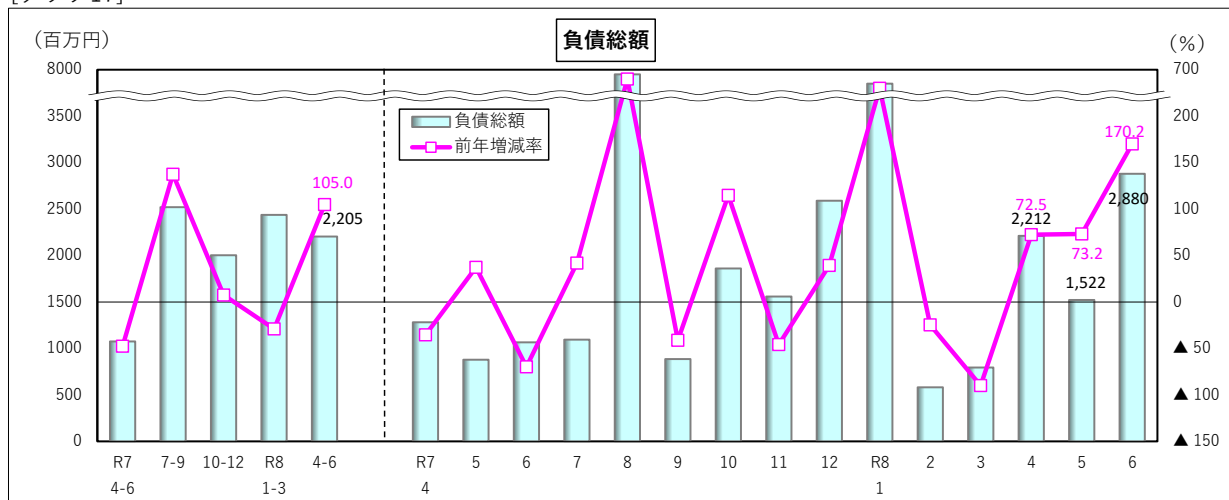
[グラフ16]



(注) 調査対象は負債額1,000万円以上。四半期の件数は月当たりの平均。

【(株)東京商工リサーチ前橋支店】

[グラフ17]



(注) 調査対象は負債額1,000万円以上。四半期の負債総額は月当たりの平均。

【(株)東京商工リサーチ前橋支店】